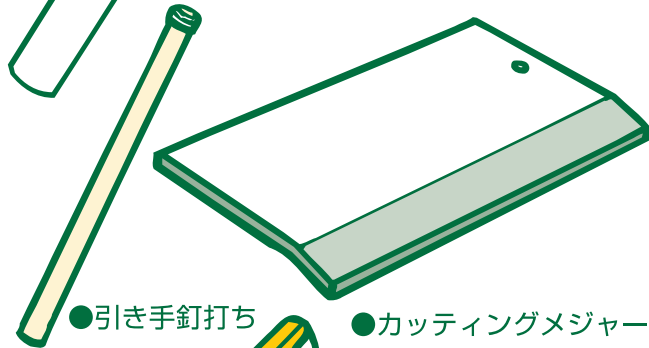


用意するもの

●アイロン
ふすま紙

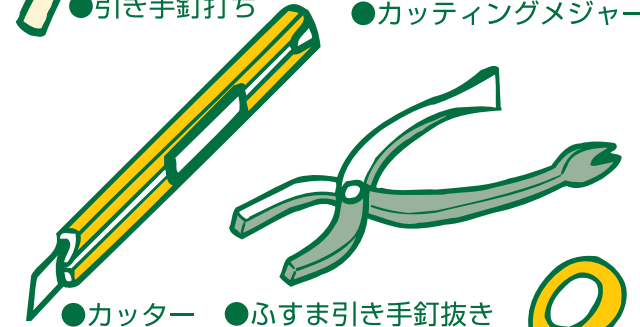


●スチームアイロン



●引き手釘打ち

●カッティングメジャー



●カッター

●ふすま引き手釘抜き



●マスキングテープ

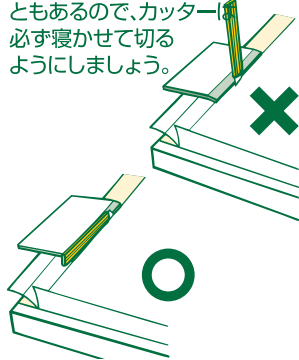
●はさみ

ここがポイント!

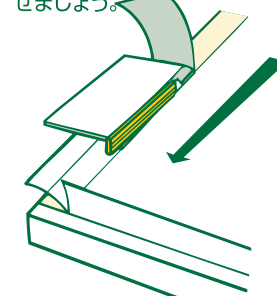
●ふすま紙の柄合わせが必要な場合は、柄がうまく合わさるように紙を重ねて枠に乗せ、枠の外側に合わせてはさみで切り、2枚目も同じ位置から貼るようにしましょう。柄合わせラインが入っている商品もありますので、面倒ならこちらを購入して下さい。(下の枠のラインを合わせれば大丈夫です)



●下図のようにカッターを立てると、下貼りごと切ってしまうこともあるので、カッターは必ず寝かせて切るようにしましょう。



●切り口が一本につながるように、カッターは一边を切り終えるまでふすまから離さないで、カッティングメジャーをスライドさせましょう。



サービスのご案内



配送・ベカン便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スペアキーづくり

●クレジットもご利用になれます。



ホームセンターセキチュー

制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進部
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

アイロンで貼り替えるふすま紙

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

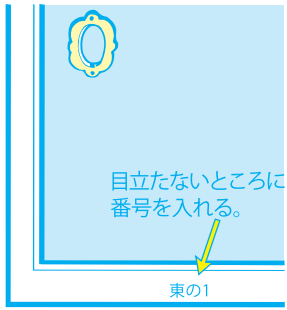
2

ふすま紙は何年も経つと薄汚れてきたり、日光やたばこのやんで黄色く変色してきます。お部屋の模様替えの際、思いきってふすま紙も変えてみてはいかがでしょうか。枠をはずさなくても、古いふすま紙の上に直接貼れるアイロンふすま紙ならのりも使わないので簡単です。



アイロンふすま紙の貼り方

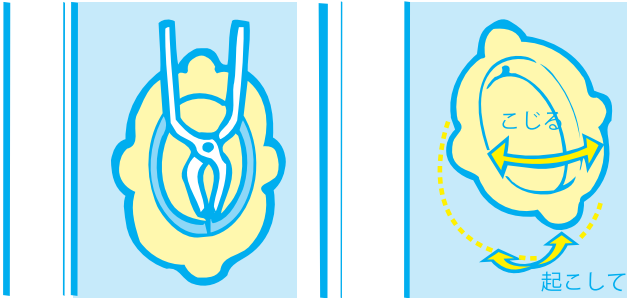
1 ふすまに番号を書きます。



貼り替え後に元のところに収まるようにするため、一枚はすすごとに必ず枠の下か上に番号を書いてください。

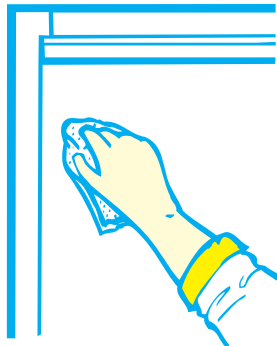
2 引き手はずします。

引き手の内側の釘を、ふすま引き手釘抜きかペンチで抜きます。もう一方の引き手釘を少しこじ起こして戻すと抜きやすくなります。



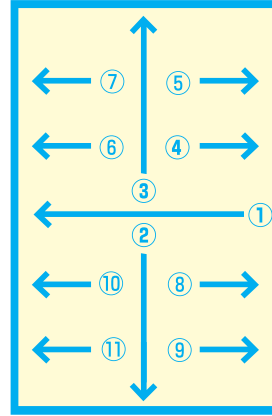
3 下準備は入念に。

枠についているたばこのヤニや手の脂はシミになることがあるので、よく拭きとって下さい。古いふすま紙の上に直接貼りますが、4~5枚ぐらい重なってくるとふすまが重くなって動きが悪くなりますので、2~3枚はがしてから貼って下さい。



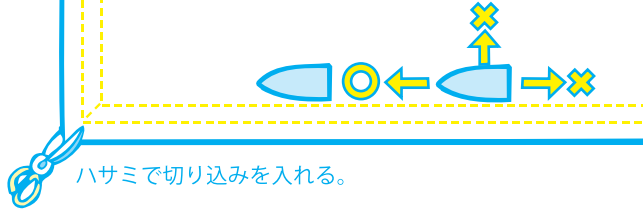
4 アイロンをかけます。

温度設定を「高」にしたアイロンで、位置を合わせてからスチームを出しながら図のように①から順に十文字かけて仮止めます。



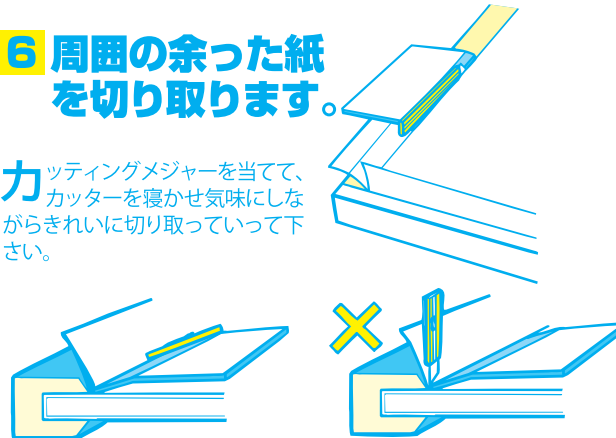
5 全体、四隅を押さええます。

四隅にはさみで切り込みをいれて、アイロンを中心から外側へかけて、4つのブロックをつくり、中から外側にかけていき、四隅はアイロンの先できめこみます。



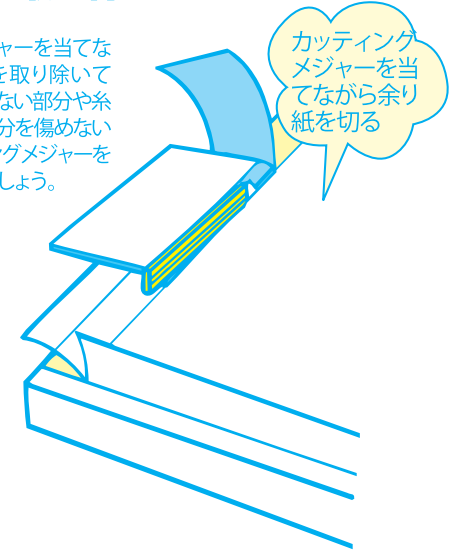
6 周囲の余った紙を切り取ります。

カッティングメジャーを当てて、カッターを寝かせ気味にしながらきれいに切り取って下さい。



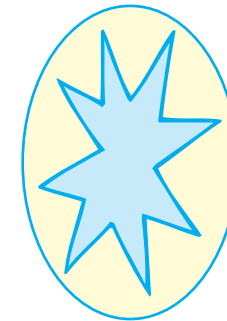
7 余り紙を取り除きます。

カッティングメジャーを当てながら余った紙を取り除いて下さい。もし切れていない部分や糸があっても、貼った部分を傷めないために必ずカッティングメジャーを当てて取るようにしましょう。

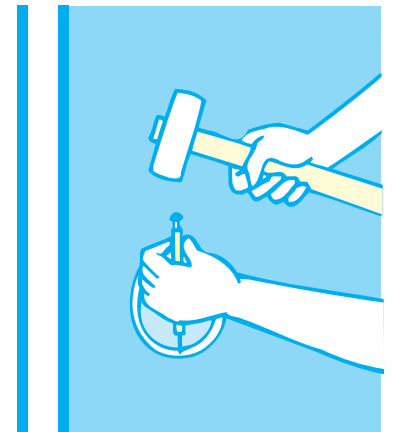


8 引き手を元に戻してでき上がりです。

引き手の穴に図のような切り込みをいれます。ふすまを立てないで横にした状態で、引き手釘を打ちこみます。



引き手の穴に切り込みを入れます。



引き手釘打ちで釘を打ち込みます。